

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	メディアを通じた中山間地域の出会い・交流創出プロジェクト
対象地域	奈良県宇陀市域
対象地域の概要	  大和高原とよばれる高原地帯に位置し、市域全体の72%を山林が占める。宇陀市の西地域には奈良の平野部が広がる  [左] 間伐されず放置されたままの森林 [右] 深刻な鳥獣被害と損なわれる生活環境・里山景観 
提案内容の概要	行政・民間ともに地域資源に関する情報発信力が弱く、来訪者のニーズに応じた戦略的な連携体制が構築できていない。<u>知られざる宇陀各地のひとと資源とその魅力を、様々な地域メディアを通じて生き生きと発信するとともに、地域のシーズと来訪者のニーズを結びつけ、新たな出会い・交流を創出することを目的とする。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	●素晴らしい資源を有しているにも係らず、住民がその価値やそこでの営みを認知しておらず、また個々の活動が「点」に留まっている。 地域が荒廃していく状況に対して、地域の資源が視点を変えれば都市住民にとって価値のある交流の素材になるにも係らず、そういった活用の仕方や受け入れの体制が構築できていないこと、またそれぞれの取組が個別バラバラであり、互いの連携協力による効果の高いPRが行えていない現状にある。 その要因の一つが、市内外に対する発信力の弱さである。地域の資源とそれらがおかれている現状を共有するための市民に対する広報が不十分であり、また、資源の魅力を守ったり、磨いたりする取組を伝えるための、多様なメディアを通じた発信も、行政・民間ともに不十分である。 【定量データ】 ・平成19年3月に実施されたアンケートによると、地域活動参加状況については、「参加していない」方が54.5%と半数以上を占めている。 ・地域活動に参加しやすくなるために必要なことについては、市民の45.5%が、「活動に関する情報の提供」を挙げている。（「参加する時間の確保」について、僅差で2番目に最も多い意見） ・地域活動支援のための対策としては、「さまざまな活動を総合的に調整するボランティア活動センターの設立」（27.4%）に次いで「ボランティア活動の情報提供と団体のネットワーク化」（22.6%）となっている。 ●地域の実情を伝え、シーズとニーズを結び付けられる人材が不足している。

	まちの情報発信力が弱いとの認識から、平成 20 年度調査事業を活用して、まちの情報発信を担うメディアとして、宇陀市CATV放送番組制作とホームページの立ち上げを行った。しかし、そういった発信の仕組みは構築できたものの、地域の現状や資源・取組の魅力を生き活きと取材・撮影することができる取材員が不足していることが課題となっている。アンケート調査においても、都市部住民より、番組やホームページに対するプレゼンテーションの仕方に対して工夫を求める意見が多数寄せられた。 各地域の共通課題に対する連携による取組や、市外の都市住民の呼び込みによる交流促進の取組などを活性化させていくためには、情報をいち早くキャッチし、取材・撮影し、得られた情報を整理分析しまとめていくことができる人材を養成し、コンテンツを充実していく必要がある。 特に、放送メディアができた以上、ビデオ撮影が必要なことから、体力のある若手取材員が求められている。 【定量データ】 - 取材員の平均年齢 55才 - 取材員の人数 3人
(2) 活動内容の案	活動①：都市住民の受け入れ体制・環境整備の検討をテーマとした番組制作 内容： 若手取材員を募り、CATV番組制作のための取材・撮影に同行してもらい、実践トレーニングを積ませる。毎月、講師を呼んで研修を行い、アポイントの取り方から、ヒアリング、メモ・録音、整理・分析、原稿作成、校正などの一連の基礎を学んでもらう。まちづくりの専門家のアドバイスも受け、地域の課題を取材テーマに設定する。 テーマの候補としては、20 年度実施したアンケート調査の結果を踏まえ、都市住民の受け入れ体制・環境整備を検討することを目的とした取材を行う。具体的事例としては、この春から市内のNPOが運営し、都市住民の受け入れを進めようとする温泉保養施設の取り組みや、20 年度に取材を行い反響の大きかった黒大豆生産農家の取り組み、さらには、山林の手入れが行き届かず鳥獣被害も深刻で、里山の景観や生活環境が損なわれている実態などを取り上げたいと考えている。 活動②：タイムリーでインパクトの高いホームページの更新・運営 内容： 20 年度事業で立ち上げたホームページについて、ホームページに対するアンケート調査結果を踏まえ、今年度はコンテンツの充実を図っていく。 一つは、活動①によって取材スタッフの加工した写真や文字データをタイムリーに更新していくしくみを作り、ホームページのアクセス数増加を図っていく。動画についても、引き続き CATV 番組制作と並行して、ホームページに掲載し、まちの内外にわかりやすく情報提供することで、ポータルサイト化を図っていく。 またもう一つは、都市部住民に対する訴求力やインパクトの大きいプレゼンテーションについても研究を行う。取材や撮影に関する基礎的な技術に加え、ホームページに掲載する番組の物語性やレポーターの表情・対話など、よりアピール度の高い番組のバリエーションを増やしていく。 活動③：地域ミニコミ紙等とのメディアミックスによる地域情報の発信 内容： 「宇陀のはな」は、宇陀地域の話題を伝える唯一のミニコミ紙で、約 17000 世帯に配布され、20 年の発行実績を持ち地元に着している。この宇陀のはなに、毎月 1 回、活動①によって取材員のまとめた原稿を掲載するとともに、CATV 番組案内やホームページのPRを行う。これにより、取材員の実践機会の提供と、CATV・インターネット・紙の3つの媒体をミックスし、情報発信の効率化・効果の最大化を図っていくことができる。 また、市内観光宿泊施設や鉄道駅、道の駅などの交流施設に、メディアネット宇陀の番組やホームページのPR、さらには各地でのイベントや行事、様々な募集情報（イベント参加者、移住や産業担い手）などを伝えるPRグッズを設置するなど、発信機会のさらなる拡大を図る。
応募団体名	特定非営利活動法人 メディアネット宇陀
リンク	http://medianetuda.jp

部 局 ／ 担 当 者 名	運営委員／高見省次
連 絡 先	TEL&FAX 0745-88-9205／e-mail medianet@kcn.jp（事務所） 又は 080-3034-1229（高見）
推 薦 市 町 村 名	奈良県宇陀市